

令和2年度(第19回)総会
議事録

■開催日時 令和3年9月26日(日)
午後1時30分～3時00分
開催場所 ZOOM利用のリモートにて開催

■出席者氏名 計9名
(敬称略)

設楽 知弘	(理事長)	(議事録作成者)
谷 敦	(副理事長)	
相川 正義	(事務局長)	
徳永 達己	(理事)	(議長)
松崎 志津子	(監事)	
小泉 新一	(監事)	(議事録署名人)
保坂 公人	(顧問)	
荒木 元世	(会員)	(議事録署名人)
渡辺 淳一	(会員)	

■会議の次第

- 1、開会
- 2、理事長挨拶
- 3、出席者及び定足数の確認
- 4、議事並びに資料の確認
- 5、議事録作成者及び議事録署名人の指名
- 6、議長選出
- 7、議題 決議事項
 - 第一号議案 令和2年度事業報告書の承認
 - 第二号議案 令和2年度収入支出状況報告と財産目録の承認及び会計監査に関する件
 - 第三号議案 令和3年度事業計画及び予算に関する件
 - 第四号議案 役員の改選に関する件
- 8、報告事項、その他
- 9、閉会

21. 10. 1

■議事録経過の概要及び議決結果

1、開会宣言

定刻に至り相川（事務局長）より総会が開会された。

2、理事長挨拶

設楽（理事長）より、今年も昨年に引き続いて新型コロナウイルスにより多くの行事や協力隊の派遣が中止となるなど、大きな影響を受けた。本総会も昨年に続きリモートとなったが、沢山の方にご参加頂きありがたく感じている。短い時間ではあるが相互の活発な意見交換の場としたい、との挨拶があった。

3、出席者及び定足数の確認

総会は、会員本人出席9名と本人の委任状による代理出席15名の合計24名で、会員8名以上出席かつ会員数41名の過半数である22名に達しており有効である旨を確認した。

4、議事並びに資料の確認

相川（事務局長）より、総会の議事及び資料の説明があり、出席者はあらかじめ電子送信によって配布された資料（令和2年度事業報告書、令和3年度活動計画書、同予算案）及び内容を確認した。

5、議事録作成者及び議事録署名人の指名

議案審議に先立つ議事経過をまとめるにあたり、議事録作成者に設楽（理事長）が推薦され、賛否を求めたところ全員異議なくこれに賛成した。また、議事録署名人には小泉（監事）、荒木会員が推薦され、賛否を求めたところ全員異議なくこれに賛成した。

6、議長選出

設楽（理事長）より議長に徳永（理事）が推薦され、賛否を求めたところ全員異議なくこれに賛成した。

7、議案の審議及び結果

第一号議案 令和2年度事業報告書の承認

徳永（議長）は第一号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

設楽（理事長）は第一号議案に関して、配布資料の「令和2年度事業報告書」を用いて、令和2年度の事業について新型コロナウイルスの影響により、①協力隊まつりはオンラインのみで開催、グローバルフェスタは中止、②訓練中ボランティア支援活動の中止、となったことを説明し、令和2年度収支の説明を行った。

徳永（議長）が議案に関して確認する旨を語ったところ、異議なく承認可決された。

第二号議案 令和元年度収入支出状況報告と財産目録の承認及び会計監査に関する件

小泉

徳永（議長）は第二号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

設楽（理事長）の求めに応じ小泉（監事）は第二号議案に関して、配布資料の「令和２年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書」を用いて、令和３年８月１３日に藤原（監事）により監査が行われた令和元年度収入支出状況を、①収入の部 ②支出の部ごとに報告を行った。

その後、小泉（監事）は配布資料の「令和２年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録」を用いて、令和２年度の財産目録の状況を、①資産の部 ②負債の部ごとに報告を行った。

徳永（議長）が議案に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

第三号議案 令和３年度事業計画及び予算に関する件

徳永（議長）は第三号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

設楽（理事長）は第三号議案に関して、配布資料を用いて、令和３年度の事業計画の方針について、活動計画を提示した。主な活動内容及び収支として、会費収入、協力隊まつりへの参加、寄付金による収入を見込んでいる。支出は、定例会（会場使用料）を含む通常管理費、必要に応じて訓練中ボランティア支援活動への必要経費補助が提案された。

徳永（議長）が議案に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

第四号議案 役員の改選に関する件

設楽（理事長）より、役員・顧問の改選に関して現役員・顧問に加えて、徳永（理事）を副理事長、渡辺会員と荒木会員の２名を理事に推薦する旨の説明があり、新役員・新顧問を以下とする提案があった。

【新理事会役員・顧問】

理事長：	設楽
副理事長：	谷、徳永
事務局長：	相川
理事：	坂上、渡辺、荒木
監事：	小泉（会計監査）、藤原（会計監査）、松崎
顧問：	保坂

松崎（監事）より、会計については可能な限り理事にして頂くのが好ましい、との提案があり、設楽（理事長）は今後そのように調整すると説明した。

徳永（議長）が改選に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

8、報告事項、その他

「定例会の日時に関して」

荒木（新理事）より、新型コロナウイルスの影響で当面はリモート定例会となるが、海外出張中の役員や会員もいるので、日本時間の週末の夕方などの開催が望ましいとの提案があった。設楽（理事長）は、その方向で調整すると説明した。

い
も

「定例会の勉強会に関して」

渡辺（新理事）より、リモート定例会では以前のように是非とも帰国隊員報告会などを企画して活発に意見交換などをするのが良いとの提案があった。谷（副理事長）から、個人情報保護などの観点から JOCA からご紹介頂くことは難しくなっており、それよりも個人的なネットワークを通じて、帰国隊員の皆様に依頼するのが良いのではとの説明があった。保坂（顧問）から、他の協力隊関連 OV 会はフェイスブックなどで帰国隊員との交流をしている点やより広い分野の方々に声をかけて発表などして頂くのが良いのではとの提案があった。徳永（新副理事長）から、定期的に勉強会のような形でざくばらんに発表をお願いして、その延長線上に協力隊まつりでの講演を依頼する案はどうかとの提案があった。渡辺（新理事）より、その旨で今後取り組んでいくことが確認された。

「会の活動報告に関して」

松崎（監事）より、会の活動内容についてひろく発信すること、会員の皆様にお知らせするニュースレターやエッセイなどが必要との提案があった。設楽（理事長）はフェイスブックサイトを早急に立ち上げること、来年からニュースレターなどを作成すると説明した。

予定していた議案と報告は以上であった。

総会の議決事項をすべて終了したため、徳永（議長）は解任された。

9、閉会

相川（事務局長）により閉会が宣言され、総会は午後 3 時に終了した。

上記のとおり令和 2 年度第 19 回総会の議事に相違ないことを証するため、ここに議事録署名人が記名・捺印する。

議事録署名人

小泉新一 

議事録署名人

荒木元也 